

## 「千葉市立病院改革プラン」の進捗状況について

### 目次

#### ◎【青葉病院】

- |        |     |
|--------|-----|
| 1 収支計画 | ……1 |
| 2 主要指標 | ……2 |
| 3 取組事項 | ……3 |

#### ◎【海浜病院】

- |        |     |
|--------|-----|
| 4 収支計画 | ……5 |
| 5 主要指標 | ……6 |
| 6 取組事項 | ……7 |

【青葉病院】

1 収支計画

①収益的収支

※ ①の収益的収支では、他会計負担金を除いた医業損益が把握できるように、改革プランで提示した収益的収支の項目を入れ替えました。

(単位:百万円、税込)

区分	21年度		22年度			23年度		
	計画	実績	計画	実績	計画比	計画	予算	
医業収支	1. 医業収益 (A)	6,038	6,031	6,162	6,524	362	6,311	6,869
	(1) 料金収入	5,875	5,852	5,999	6,353	354	6,147	6,700
	1 入院収益	4,333	4,221	4,423	4,594	171	4,536	4,856
	2 外来収益	1,542	1,631	1,576	1,759	183	1,611	1,844
	(2) その他医業収益	163	179	163	171	8	164	169
	2. 医業費用 (B)	8,679	8,576	8,767	8,696	△ 71	8,796	9,128
	(1) 職員給与費	4,000	3,891	4,000	3,958	△ 42	4,000	4,298
	(2) 材料費	1,542	1,659	1,575	1,724	149	1,613	1,799
	(3) 経費	2,018	1,914	2,168	2,010	△ 158	2,177	2,051
	(4) 減価償却費	1,088	1,087	995	979	△ 16	976	946
(5) その他	30	25	30	25	△ 5	30	34	
医業損益 (A)-(B)	△ 2,641	△ 2,545	△ 2,605	△ 2,172	433	△ 2,485	△ 2,259	
医業外収支	3. 医業外収益 (C)	3,174	3,114	3,124	2,738	△ 386	2,991	2,770
	(1) 他会計負担金・補助金	3,094	3,016	3,040	2,661	△ 397	2,903	2,689
	(2) 国(県)補助金	19	13	19	16	△ 3	19	16
	(3) その他	61	85	65	61	△ 4	69	65
	4. 医業外費用 (D)	518	543	504	500	△ 4	491	492
	(1) 支払利息	419	416	404	400	△ 4	391	386
	(2) その他	99	127	100	100	0	100	106
経常収益 (A)+(C) (E)	9,212	9,145	9,286	9,262	△ 24	9,302	9,639	
経常費用 (B)+(D) (F)	9,197	9,119	9,271	9,196	△ 75	9,287	9,620	
経常損益 (E)-(F) (G)	15	26	15	66	51	15	19	
特別損益	1. 特別利益 (H)	0	1	0	35	35	0	0
	2. 特別損失 (I)	15	27	15	25	10	15	19
	特別損益 (H)-(I) (J)	△ 15	△ 26	△ 15	10	25	△ 15	△ 19
純損益 (G)+(J)	0	0	0	76	76	0	0	
累積欠損金	△ 1,528	△ 1,528	△ 1,528	△ 1,452	76	△ 1,528	△ 800	
繰入金合計(再掲)	3,094	3,016	3,039	2,661	△ 378	2,903	3,241	

②資本的収支

(単位:百万円、税込)

区分	21年度		22年度			23年度		
	計画	実績	計画	実績	計画比	計画	予算	
資本的収入	1. 企業債	113	108	177	67	△ 110	594	217
	2. 他会計繰入金	0	0	484	0	△ 484	490	0
	3. その他	0	0	0	7	7	0	0
	計 (A)	113	108	661	74	△ 587	1,084	217
	(A)のうち翌年度に繰り越される支出の財源充当額 (B)	0	0	0	0	0	0	0
	純計 (C)	113	108	661	74	△ 587	1,084	217
資本的支出	1. 建設改良費	115	112	177	69	△ 108	594	237
	2. 企業債償還金	920	920	968	967	△ 1	980	990
	3. その他	19	16	0	0	0	0	0
	計 (D)	1,054	1,048	1,145	1,036	△ 109	1,574	1,227
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)	941	940	484	962	478	490	1,010	
補てん	1. 損益勘定留保資金	941	940	484	962	478	490	1,010
	2. その他	0	0	0	0	0	0	0
	計 (F)	941	940	484	962	478	490	1,010
補てん財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	
積立金現在高	0	0	0	0	0	0	0	
企業債現在高	21,736	21,731	20,945	20,831	△ 114	20,559	20,058	

22年度の経常収益は、計画比0.3%の減となりました。診療収入のうち、入院部門では、病床利用率は計画値を下回りましたが、入院診療単価は計画値を上回ったことで、入院収益は3.9%計画値を上回りました。また、外来部門では、患者数及び外来診療単価が計画値を上回ったことで、外来収益は11.6%計画値を上回ることとなりました。一方、支出は、諸経費の節減に努めたことにより、計画比0.8%の減となりました。これらの結果、純損益は、計画値を7,600万円上回りました。

## 2 主要指標

区分	21年度			22年度			23年度	
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	予算
病床利用率(全体) (%)	77.6	70.1	△ 7.5	78.4	70.9	△ 7.5	79.2	81.0
病床利用率(一般) (%)	80.0	72.8	△ 7.2	80.5	74.4	△ 6.1	81.0	79.2
入院診療単価 (円)	44,751	48,011	3,260	45,474	51,358	5,884	46,188	49,628
外来一日平均患者数 (人)	820	828	8	835	837	2	850	850
外来診療単価 (円)	7,769	8,135	366	7,769	8,652	883	7,769	8,892
経常収支比率 (%)	100.2	100.3	0.1	100.2	100.7	0.5	100.2	100.2
医業収支比率 ※ (%)	69.6	70.3	0.7	70.3	75.0	4.7	71.7	75.3
職員給与費比率 ※ (%)	66.2	64.5	△ 1.7	64.9	60.7	△ 4.2	63.4	62.6
平均在院日数 (日)	11.2	10.7	△ 0.5	11.1	11.0	△ 0.1	11.0	-

※ 第1頁の「1 収支計画 ①収益的収支」に基づいて、医業収支比率及び職員給与比率の算定を行いました(医業収益の中に他会計負担金を含めないで算定しました)。

### 3 取組事項

#### (1) 収入増加・確保

取組項目	22年度進捗
DPC(診断群分類)包括評価支払の導入	21年度から導入済
施設基準の届出の見直し	救急医療管理加算等の施設基準を取得しました。
地域医療機関との機能分担と連携強化	地域の医療機関等との連携強化に努めました。
未収金の縮減	クレジットカード決済の導入、推進により、未収金の発生予防に努めました。また、引き続き臨戸徴収を実施し、未収金の回収強化に取り組みました。22年度のクレジットカード利用率は、25.0%となり、21年度(24.2%)に比べ利用率が0.8%増加しました。

#### ※地域医療機関との機能分担と連携強化【目標値】

	H21		H22			H23
	計画	実績	計画	実績	計画比	計画
紹介率	47.8%	47.4%	48.9%	49.6%	0.7%	50.0%
逆紹介率	26.6%	25.7%	28.2%	24.3%	△ 3.9%	30.0%

#### (2) 経費節減・抑制

取組項目	22年度進捗
SPD(物品管理システム)の導入及び拡充	21年度より新SPD(物品管理システム)を病院情報システムと連動させ、引き続き医療請求漏れの防止、材料費削減を図りました。
後発医薬品(ジェネリック薬品)の使用の拡大	21年度から引き続き、高額で使用量の多い医薬品をジェネリック医薬品へ切り替えることに取り組んだため、品目数比率9.9%となり、計画値を2.8%下回ったものの、購入額比率は11.8%となり、21年度(10.5%)に比べて、1.3%上昇しました。

#### ※後発医薬品(ジェネリック薬品)の使用の拡大【目標値】

	H21		H22			H23
	計画	実績	計画	実績	計画比	計画
品目数比率	10.2%	8.2%	12.7%	9.9%	△2.8%	15.5%

#### (3) その他

取組項目	22年度進捗
臨床研修の実施	管理型・協力型の臨床研修病院として、22年度は15人(21年度から3人増)の卒後臨床研修医を受入れを行いました。また、後期臨床研修医も引き続き5人(21年度と同数)受入れしました。
医師の待遇改善	21年度から引き続き、医療クランクを配置し(14人)、医師業務の負担軽減を図りました。

#### (4) その他の取組み

取組事項	平成22年度進捗
市立病院相互の機能分担など 在り方の見直し (少数医師配置の診療科)	千葉県保健医療計画等を踏まえ、海浜病院との機能分担などを引き続き検討しました。
緩和ケアチーム	22年度より早期から緩和ケア実施を目指し、緩和ケアチームの運営方法を見直しました。
病院間のネットワーク化	22年度に、両市立病院間のカルテ、画像等の相互参照が可能となるようシステム改修を行いました。
薬学生の受入れ	薬学教育課程が6年制に移行されたことに伴う薬剤師養成のための薬学教育実務実習の実施病院として、8名の薬学生を受け入れ実務実習指導を行いました。

【海浜病院】

※ ①の収益的収支では、他会計負担金を除いた医業損益が把握できるように、改革プランで提示した収益的収支の項目を入れ替えました。

4 収支計画

①収益的収支

(単位:百万円、税込)

区分	21年度			22年度			23年度	
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	予算
1. 医業収益 (A)	5,613	5,523	△ 90	5,724	5,981	257	5,809	6,339
(1) 料金収入	5,538	5,453	△ 85	5,649	5,832	183	5,734	6,237
1 入院収益	4,097	3,884	△ 213	4,203	4,324	121	4,283	4,671
2 外来収益	1,441	1,569	128	1,446	1,508	62	1,451	1,566
(2) その他医業収益	75	70	△ 5	75	149	74	75	102
2. 医業費用 (B)	7,408	7,102	△ 306	7,522	7,201	△ 321	7,575	7,750
(1) 職員給与費	3,734	3,595	△ 139	3,801	3,668	△ 133	3,801	3,998
(2) 材料費	1,361	1,303	△ 58	1,385	1,368	△ 17	1,406	1,467
(3) 経費	1,931	1,827	△ 104	1,950	1,763	△ 187	1,970	1,849
(4) 減価償却費	361	360	△ 1	365	359	△ 6	376	394
(5) その他	22	17	△ 5	22	43	21	22	42
医業損益 (A)-(B)	△ 1,795	△ 1,579	216	△ 1,798	△ 1,220	578	△ 1,766	△ 1,411
3. 医業外収益 (C)	1,905	1,683	△ 222	1,908	1,628	△ 280	1,878	1,517
(1) 他会計負担金・補助金	1,882	1,656	△ 226	1,890	1,495	△ 395	1,863	1,439
(2) 国(県)補助金	6	4	△ 2	6	44	38	6	56
(3) その他	17	23	6	12	89	77	9	22
4. 医業外費用 (D)	100	96	△ 4	100	164	64	102	91
(1) 支払利息	40	35	△ 5	40	31	△ 9	42	36
(2) その他	60	61	1	60	133	73	60	55
経常収益 (A)+(C)	7,518	7,206	△ 312	7,632	7,609	△ 23	7,687	7,856
経常費用 (B)+(D)	7,508	7,198	△ 310	7,622	7,365	△ 257	7,677	7,841
経常損益 (E)-(F)	10	8	△ 2	10	244	234	10	15
特別利益 (H)	0	1	1	0	1	1	0	0
特別損失 (I)	10	9	△ 1	10	24	14	10	15
特別損益 (H)-(I)	△ 10	△ 8	2	△ 10	△ 23	△ 13	△ 10	△ 15
純損益 (G)+(J)	0	0	0	0	221	221	0	0
累積欠損金	△ 531	△ 531	0	△ 531	△ 312	219	△ 531	440
繰入金合計(再掲)	1,882	1,656	△ 226	1,890	1,495	△ 395	1,862	2,090

②資本的収支

(単位:百万円、税込)

区分	21年度			22年度			23年度	
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	予算
1. 企業債	350	342	△ 8	364	555	191	364	347
2. 他会計繰入金	0	0	0	323	0	△ 323	333	0
3. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (A)	350	342	△ 8	687	555	△ 132	697	347
(A)のうち翌年度に繰り越される支出の財源充当額 (B)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計 (C)	350	342	△ 8	687	555	△ 132	697	347
1. 建設改良費	353	346	△ 7	353	578	225	353	322
2. 企業債償還金	623	623	0	646	646	0	666	654
3. その他	11	3	△ 8	11	12	1	11	39
計 (D)	987	972	△ 15	1,010	1,236	226	1,030	1,015
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)	637	630	△ 7	323	681	358	333	668
1. 損益勘定留保資金	637	630	△ 7	323	681	358	333	668
2. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (F)	637	630	△ 7	323	681	358	333	668
補てん財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0
積立金現在高	0	0	0	0	0	0	0	0
企業債現在高	2,569	2,561	△ 8	2,287	2,470	183	1,985	2,163

22年度の経常収益は、計画比0.3%の減となりました。  
 診療収入のうち、入院部門では、病床利用率は計画値を下回りましたが、入院診療単価は計画値を上回ったことで、入院収益は2.9%計画値を上回りました。また、外来部門では、患者数は計画値を下回りましたが、外来診療単価が計画値を上回ったことで、外来収益は4.3%計画値を上回ることとなりました。  
 支出は、諸経費の節減に努めたことにより、計画比3.5%の減となりました。  
 これらの結果、純損益は、計画値を22,100万円上回りました。

## 5 主要指標

区分	21年度			22年度			23年度	
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	予算
病床利用率 (%)	80.0	72.7	△ 7.3	80.5	69.7	△ 10.8	81.0	81.0
入院診療単価 (円)	46,389	48,627	2,238	47,500	56,485	8,985	48,000	52,491
外来一日平均患者数 (人)	618	588	△ 30	618	580	△ 38	618	618
外来診療単価 (円)	8,588	9,914	1,326	8,588	9,899	1,311	8,588	9,642
経常収支比率 (%)	100.1	100.1	0.0	100.1	103.3	3.2	100.1	100.2
医業収支比率 ※ (%)	75.8	77.8	2.0	76.1	83.1	7.0	76.7	81.8
職員給与費比率 ※ (%)	66.5	65.1	△ 1.4	66.4	61.3	△ 5.1	65.4	63.1
平均在院日数 (日)	13.6	12.6	△ 1.0	13.6	11.8	△ 1.8	13.6	-

※ 第5頁の「4 収支計画 ①収益的収支」に基づいて、医業収支比率及び職員給与比率の算定を行いました(医業収益の中に他会計負担金を含めなくて算定しました)。

## 6 取組事項

### (1) 収入増加・確保

取組項目	22年度進捗
DPC(診断群分類)包括評価支払の導入	24年度からDPC調査協力病院を目指し、院内委員会等で検討を進めました。
施設基準の届出の見直し	ハイケアユニット入院医療管理料、救急医療管理加算等の施設基準を取得しました。
地域医療機関との機能分担と連携強化	地域の医療機関等との連携強化に努めました。
未収金の縮減	クレジットカード決済の導入、推進により、未収金の発生予防に努めました。また、引き続き臨戸徴収を実施し、未収金の回収強化に取り組みました。22年度のクレジットカード利用率は、24.8%となり、21年度(23.0%)に比べ利用率が1.8%増加しました。

#### ※地域医療機関との機能分担と連携強化【目標値】

	H21		H22			H23
	計画	実績	計画	実績	計画比	計画
紹介率	34.0%	39.1%	35.0%	53.1%	18.1%	36.0%
逆紹介率	31.0%	26.0%	32.0%	28.2%	△ 3.8%	35.0%

### (2) 経費節減・抑制

取組項目	22年度進捗
SPD(物品管理システム)の導入及び拡充	23年度のSPD稼働を目指し、導入方法等の検討を進めました。
後発医薬品(ジェネリック薬品)の使用の拡大	高額で使用量の多い医薬品をジェネリック医薬品へ切り替えることを重点的に取り組み、購入額比率は12.6%となり、21年度(14.0%)と比べて1.4ポイント下回ったものの、品目数比率は15.8%となり、計画値を2.5%上回りました。

#### ※後発医薬品(ジェネリック薬品)の使用の拡大【目標値】

	H21		H22			H23
	計画	実績	計画	実績	計画比	計画
品目数比率	10.8%	12.7%	13.3%	15.8%	2.5%	15.8%

### (3) その他

取組項目	22年度進捗
臨床研修の実施	管理型・協力型の臨床研修病院として、22年度は6人(21年度と比べて2人増加)の卒後臨床研修医を受け入れました。また、後期臨床研修医も引き続き4人(21年度と比べて2人増加)受け入れました。
医師の待遇改善	21年度から引き続き、医療クランクを配置し(13人)、医師業務の負担軽減を図りました。

#### (4)その他の取組み

取組事項	平成22年度進捗
地域周産期母子医療センターの設置	22年5月1日より地域周産期母子医療センターを開設し、21年度が559件であった出産件数が22年度は662件となるなど、周産期医療の充実を図りました。
市立病院相互の機能分担など 在り方の見直し (少数医師配置の診療科)	千葉県保健医療計画等を踏まえ、青葉病院との機能分担などを引き続き検討していきました。
病院間のネットワーク化	22年度に、両市立病院間のカルテ、画像等の相互参照が可能となるようシステム改修を行いました。
薬学生の受入れ	薬学教育課程が6年制に移行されたことに伴う薬剤師養成のための薬学教育実務実習の実施病院として、4名の薬学生を受け入れ実務実習指導を行いました。